

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１９～２４ 台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網--西彼地区では、マアジなどが１日１統当たり１０トンの水揚げで、前週の２．５倍（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが１日１統当たり１２トンの水揚げで、前週の２倍（前年を下回った）。

イカ釣----ケンサキイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり１７kgの水揚げで、前週の１．３倍（前年を下回った）。

定置網----五島有川地区では、シイラなどが１日１統当たり１３９kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが１日１統当たり５５６kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり１１５kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが１日１統当たり１３４kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが１日当たり３７７kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（１１／１５～１１／１９の５日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島北沖に移動するも漁獲薄、久慈～宮古沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）は、２日延７隻、総計２２３箱、１航海最高６１箱、平均３１．９箱。

ケンサキイカ（２～３立）を漁獲。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第７－２５号 ６県ケンサキイカ情報（令和７年度 第６号）」・「第７－２６号 壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>